

ながおお日記

高岡タイムトラベル



写真は昭和37年のもので、苗代田を作っているところです。当時はまだ耕運機などもなく、田んぼの時期になると近所同士で集まり、みんなで田植えに向けた準備を進めていました。

土を耕して種もみを植える場所の土を盛り上げたり、わらじで踏んで土を固めて畔を作ったりと、すべて手作業でした。この頃の田植えは今よりも1ヶ月ほど遅かったので、これは4月中旬頃の様子です。当時子どもだった私は、苗代田で育った苗を田んぼまで運ぶのを手伝っていたのが懐かしい思い出です。

55年以上の月日が経って景観もすっかり変わっていますが、当時の農作業を振り返ると、機械化が進んだ農業の進歩を感じずにはいられません。

東海老坂（守山地区）

当時のお話

かんざか きよはる
勘坂 清治さん



現在のようす

ながおお日記

高岡タイムトラベル



三千坊山遊歩道整備の「究極の一枚」

江道（国吉地区）

当時のお話

なかしま あきお
中島 昭夫さん

国吉地区と氷見市の境にそびえる三千坊山の山頂にある展望台からは、高岡や氷見の平野部を一望できるほか、富山湾や能登半島も望むことができます。

写真は昭和43年に開設された当時の不燃焼物処理場（現高岡市埋立処分場）の道路整備にあわせて、三千坊山の遊歩道の整備に乗り出した地域の有志の姿で、切り開かれた山の斜面が印象的な「究極の一枚」です。現在、遊歩道の管理は「三千坊山を愛する会」に受け継がれ、春は満開の桜、秋は紅葉と、ハイキングで訪れた人々の目を楽しませています。